

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (九州)	◎	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス第2波が拡大しなければ、景気は間違いなく上昇していく。一部厳しい企業もあるが、政府の対応策もあり、全体では持ちこたえられたと考えている。したがって、懸念もあるが2～3か月先は、良くなることを期待している。
	◎	百貨店（売場担当）	・緊急事態宣言の解除後は、新しい生活様式にのっとり、制約はありながらも現状よりは人の移動が出始め、今よりは良くなる。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・出張者の利用と、開始時期にもよるが、政府の支援策であるGo To Travelキャンペーンの効果を期待している。
	◎	競馬場（職員）	・客の入場再開を期待している。
	○	商店街（代表者）	・緊急事態宣言が解除になり、外出する機会が増えるため、今以上に悪い状態にならないと予想しているが、外出することに不安があるため、見通しは分からない。今後、新型コロナウイルスによる影響を判断しかねる状況である。
	○	商店街（代表者）	・日を追うごとに新型コロナウイルスの影響が、収束に向かっていくという希望的観測で、景気は若干持ち直す。
	○	商店街（代表者）	・夏場に向けて、消費は徐々に回復すると見込んでいる。
	○	一般小売店〔青果〕（店長）	・新型コロナウイルスの第2波を客は案じているが、客の購買意欲は抑えることができないため、徐々に動いていく。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・現在どん底のため、厳しい状態があと1か月は続くとして予想している。元の状態に戻るには、時間が掛かるが、現状より良くなることを期待している。徐々に回復していくはずである。
	○	一般小売店〔精肉〕（店員）	・緊急事態宣言が全面的に解除されることで、状況は若干良くなる見通しである。
	○	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスによる影響が収束し、ふだんの生活リズムが、徐々に回復することを期待している。
	○	百貨店（企画担当）	・5月6日より営業再開したため、若干良くなる。
	○	百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言が解除され、少しずつ来店客数が増えている。
	○	百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルス収束次第ではあるが、来店客数は回復している。大きなイベントとしては、通常7月からのクリアランスセールを6月早めに展開し、お中元ギフトセンターが繰り上げになる。また、食品の物産催事や電化製品の売出しは、自粛による影響が大きいだが、6月は全店計60%を超える動きになると予想している。取引先が抜けていく可能性が懸念材料にはなるが、現状より状況は上向きで推移する。
	○	コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、近隣運動施設等での競技大会が開催されるなど、人の動きが期待できる。
	○	衣料品専門店（店員）	・緊急事態宣言が解除になり、やっと営業を開始することができる。
	○	家電量販店（店員）	・緊急事態宣言が解除されて、客足は随分戻っている。パソコン等もよく売れており、白物家電や黒物家電も需要が出ている。3か月前と比較すると今後の状況は、徐々に上向いてくると期待をしている。
	○	家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響による自粛要請が解除になり、客数が増えている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・現状の売行きは悪さは、ほぼ底を突いているため、徐々に良くなる。
	○	一般レストラン（経営者）	・本当に少しずつではあるが、来店客数は増えている。全面解除後に期待するしかない。
○	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・緊急事態宣言期間中に業績が底を打っているが、徐々に回復の兆しが見えている。しかし、3～5月で受けた影響は非常に大きく、先行き不透明なため、今後の回復に懸念している。	
○	観光型ホテル（総務）	・運営しているホテルの宿泊や宴会、レストランの予約、問合せ等少しずつ増えている。首都圏からの出張や旅行等人的の動きが活発になると予想している。	
○	観光型ホテル（専務）	・県や市のGo To Travelキャンペーンが始まるため、予約が入ることを期待している。	
○	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの終息次第であるが、感染に注意しつつ、ビジネスは戻っていく。	
○	タクシー運転手	・2～3か月先の予約には、県内外からの予約が徐々に入っており、若干上向く。	

○	タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染第2波への不安が強く、長期にわたる経済的落ち込みは、運転手の雇用すら懸念される。急激な回復は望めない。
○	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスによる影響で、止まっていた引き合いや見込み案件が動き出している。減額等はあるものの、全く動いていなかったものが始まるため、多少は回りだすと予測される。
○	ゴルフ場（従業員）	・新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言の解除により、徐々にではあるが改善すると予想している。
○	理容室（経営者）	・梅雨に入り暑くなるため、5月後半から来店が出始めている。業界的には、やや良くなっていくと期待を込めている。
○	美容室（経営者）	・緊急事態宣言も解除され、2～3か月先は、客足が伸びてくると予想している。おしゃれシーズンにもなり、客の動きが出ることで、今より状況は良くなる。
○	設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの影響が継続する。
□	商店街（代表者）	・5月と同じ傾向だと想定している。
□	商店街（代表者）	・緊急事態宣言が解除されたが、すぐに売上や来店客数が増加するとは考えられず、この状況が2～3か月先まで継続する。また、第2波が起こったときに、どのように対処するかを考えながら準備をしていきたい。各業種は、非常に厳しい状況であり、補助金等がなければ廃業、倒産の組合も散見される。
□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス警戒による外出自粛で購買意欲が減退になっており、お中元ギフトセンターを含め、来店の回復は遅れると考えられる。一方、通販部門は感染予防対策での外出自粛により、お中元商戦を含めた利用増が予想される。一部し好性の高い舶来雑貨や工芸品、クレジット決済は期待できるが、感染収束まで家族そろっての外出や購買意欲減退及び慎重姿勢と生命・生活防衛意識で回復は長引くと懸念される。
□	百貨店（プロモーション担当）	・流行と収束が繰り返すことが予想され、多少の波はあっても、消費の根本的な改革なくしては、新型コロナウイルス発生前の状態には戻らないと考えられる。
□	百貨店（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の収束に見通しが立っておらず、客足は、前年から半減の水準が継続している。
□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチンが開発されるまでは、以前の動向に戻らないと考えている。
□	コンビニ（エリア担当）	・不安定要素がなくなる限り、消費マインドが劇的に変化することは期待できない。
□	コンビニ（店長）	・簡単には戻らない。
□	コンビニ（店長）	・まだまだ新型コロナウイルスによる影響が続くと予測される。
□	コンビニ（エリア担当・店長）	・まだ、客は外出を避けているため、昼間のピークがまだ元に戻っていない。しかし、客単価は前年より高く推移しており、来店客数が戻れば、売上もそこそこ回復すると見通している。
□	衣料品専門店（取締役）	・給付金は1～2割の負担のため、多少の助けにはなるが、他の経費が多いため、緊急事態宣言が解除されても、すぐには来店客が増加するとは考えられず、今後は、企業的に体制を見直しながら整える守りの時期になる。
□	衣料品専門店（総務担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、簡単に2～3か月で回復に向かうとは、考えられない。
□	家電量販店（総務担当）	・景気の停滞が予想されるが、今夏の猛暑予想により、エアコンディショナーや季節商材の後押しをしてくれることを期待している。
□	家電量販店（広報・IR担当）	・緊急事態宣言が全国で解除され、少しずつ以前の状態に戻るであろうが、この先不透明な上、この不況で消費者心理に悪影響が出ている。
□	乗用車販売店（代表）	・変わる好材料がない。
□	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・6～7月は飲料系のアイスコーヒーの需要が高まっていく。また、営業再開する店も増えつつあり、それに伴い、従来の発注状況に戻ってくると予想されるが、来店客が元に戻るには時間が掛かるため、景気は横ばい、あるいは若干悪い。
□	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・新型コロナウイルスが終息し、インバウンドが戻るまで、悪い現状は継続する。
□	一般レストラン（スタッフ）	・大人数での飲食を控えているため、多少人の動きが増えても売上は戻らない。

□	居酒屋（経営者）	・新型コロナウイルスの第2波を考えると、県外からの客を見込めない。また、県内の客も企業の飲食が減少しているため、厳しい状況が続く。
□	旅行代理店（従業員）	・新しい生活スタイルの具体策も読めず、新型コロナウイルス発生前に戻るとは考えられない。
□	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスへの関心が当分続き、光・モバイル通信回線のニーズが続く。
□	通信会社（業務担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、経済活動が以前のように戻る気配がない。今後は、世の中の働き方にあわせて、ビジネスモデルを変えていくことが必須と考えられる。
□	美容室（店長）	・以前は、旅行や食事会前に来店が多かったが、現在は必要最低限に止まっており、客数が前年の30%減少である。
□	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が解除になり、期待感はあるが、客先では受注やキャッシュフローを含め、厳しい状況が続く。経費削減の観点から協力要請があると想定され、会場利用も抑制され、その結果、良くも悪くもならないと予測している。
□	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・緊急事態宣言が解除されたが、すぐに客へのサービスが戻ることは困難である。
□	設計事務所（所長）	・仕事量が増えるわけでもなく、1年近く同じ状況が続いており、良くないと感じている。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で、商店街全体の落ち込みはひどいものである。飲食店は廃業も視野に入れ始め、小売店は数店閉店したままである。一時的な不景気ではないため、深刻である。
▲	百貨店（業務担当）	・外出自粛していた間に、たまった仕事や家事をするのに時間が掛かり、買物をする気持ちになれない客が多く、当面は消費に回す金がない時期が継続する。
▲	スーパー（店長）	・小売やスーパーマーケットでは、販売促進面も加え、5月は前年比102%で推移すると予想している。需要と供給の内容も変わっており、品切れがないように、商品の補給に気を付けている。新型コロナウイルスの影響で、客の購買意欲も変化しながら、6月には少し落ち着いていく。
▲	スーパー（総務担当）	・緊急事態宣言が解除され、すぐに元どおりとはならないまでも、徐々に大型ショッピングセンターや各種観光、娯楽施設等へ消費が流れていくと予想され、この3か月間のようにスーパーマーケットで買物することが楽しみというような風潮は終わる。
▲	スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響が落ち着くと、家庭内での食事が減り、収入が減った家庭では、更に安価なものを求め、スーパーマーケット業界は、新型コロナウイルス発生前よりも厳しい状況が予想される。
▲	スーパー（統括者）	・緊急事態宣言解除後は、客の行動範囲が拡大し、また、6月のキャッシュレスポイント還元が終了するため、やや悪くなる。しかし、内食での家族のきずなも深まり、営業方法によっては、チャンスもあると考えている。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が徐々になくなっても、容易に客数が戻るわけではなく、今まで下支えをしてきた客単価アップも望めず、先が見通せない状況になる。
▲	住関連専門店（経営者）	・6月からは、キャンペーン再開を予定しているが、緊急事態宣言解除後の人の動きはまだ鈍く、置き家具を購入するまでには、時間が掛かる。
▲	住関連専門店（従業員）	・本当に先が読めない。所得減少による需要の落ち込みは想定される。また、緊急事態宣言が改めて発令される可能性もゼロではない。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油の小売価格は、しばらくは下げ止まった状況で推移すると予想している。なじみ客の来店頻度や使用量が減少しているが、当地を訪問する客が戻るには、相当の時間が掛かる。
▲	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響がある。
×	商店街（代表者）	・当市では感染者が発生し、閉店の危機感が出ているが、諦めずに取り組んでいく。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの終息が見通せない限り、大変な事態に陥る。
×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの状況下でも売上が良かったが、これから夏は暑くなるため、売上が落ちる。

	×	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・年間を通して、一番の繁忙期に、新型コロナウイルスの影響で売上が非常に落ち込んでいる。今から暑くなるため、日本茶の売上は期待できない。これから数か月は、この状態が継続すると危惧している。
	×	スーパー（店長）	・徐々に新型コロナウイルスが終息しつつあるものの、影響は長引くと予想され、今後の経済状態が回復するには、かなりの時間を要する。
	×	コンビニ（経営者）	・自粛によるステイホームに慣れ、緊急事態宣言解除後も関東、関西から当地への人の移動は、大幅減少が続く見込みで、売上低迷は避けられない。
	×	コンビニ（経営者）	・テレワークを始めとして、人が動かなくても経済活動ができる状況になり、完全に元に戻ることは望めない。このことにより、消費が非常に沈滞化していく。
	×	コンビニ（経営者）	・今後、新型コロナウイルスの感染は、第2波、第3波が発生する可能性があり、本格的な経済活動に戻るには、まだまだ時間を要する。
	×	衣料品専門店（店長）	・少し世の中の動きに、明るい兆しが出てきている。一刻も早く、人の流れが戻ることを望んでいる。
	×	家電量販店（店長）	・給付金需要は一時的なものであるため、これが落ち着けば新型コロナウイルスの影響が色濃くなる。
	×	乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルス感染拡大により、メーカーの車両生産が遅れている。2～3か月先は、受注台数も登録台数もかなり落ち込み、収益が確保できない状況となる。
	×	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・新型コロナウイルスの影響がある限り、景気が上向くことは厳しいと考えている。現状では、少しずつ客の動きに回復がみられるが、感染防止のために必要最低限の経済活動状態である。施設業種では、特に旅行業種と映画館は、厳しい売上に陥っている。治療薬が開発されると、もう一段階経済活動も上がるため、早期開発に期待したい。
	×	高級レストラン（経営者）	・6月の予約状況は、僅かしか入っていない。前年と比較すると8～9割の減少である。様々な給付金を受取りながら、しのいでいくしかないが、先行き不透明なため予想ができず、それに加えて、近隣の県から感染者が発生しており、不安を隠せない。
	×	高級レストラン（経営者）	・この地域の飲食店では、どうにか持ちこたえている店や助成金が間に合わずに廃業する店、従業員がいなくなる店が多く出ており、このままでは地域の活性化がなくなり、元に戻らないのではないかと非常にひっ迫している状態である。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、外食は敬遠され、経済の落ち込みから外食消費は落ち込む。
	×	タクシー運転手	・4～5月に新型コロナウイルスの影響に耐えてきた中小企業のなかで、6～7月に倒産や廃業する店が出てくると予想される。また、新型コロナウイルスの第2波の懸念もあり、好材料は全くない。
	×	通信会社（店員）	・インターネットでの購入が増加するため、景気は低下していく。
	×	観光名所（従業員）	・例年と比較しても、この状況は非常に厳しい。また、完全な新型コロナウイルスの終息宣言が出ない限りは、安心して人の往来もできない。先のみえない状況下のため、疲弊しきっている。
	×	その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	・新型コロナウイルスの影響やワクチン、治療薬の開発承認等見通しがついていないため、状況は悪くなる。
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの影響で、かなりの人の収入が減少しており、生活の立て直しや防衛を考え、高額な住宅等の建築をしばらくは控えるのではないかと想定している。
	×	住宅販売会社（従業員）	・先行きがみえない理由で、住宅を検討している客の計画延期が、増加している。緊急事態宣言解除後も、展示場来場者数は、依然少ない状況である。
	×	住宅販売会社（従業員）	・客は、住宅購入、マンション購入や賃貸の引っ越しを急ぐ必要がないと取りやめ、事業用賃貸も安い家賃への転居を希望している状態である。客もこの業界も先行き不安で、景気は悪くなる。
企業動向関連	◎	—	—
(九州)	○	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は、若干落ち着いている。当街の補助事業もあり、テイクアウトが好調である。人の活動が始まることは、購買意欲が出て、当社の売上にも好影響である。
	○	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・経済的に動き出し、問合せや受注件数も少しずつではあるが増えている。

○	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・現状が一番苦しい状態であると感じている。先行き不透明であるが、3か月先は若干良くなるのではと希望を持っている。
○	その他製造業〔産業廃 棄物処理業〕	・世界の状況にもよるが、自動車の自動運転化等、製造しな ければならないものは多く、徐々に生産が回復すると予測し ている。
○	不動産業(従業員)	・商業施設の営業再開が始まり、回復が期待できる。
○	新聞社〔広告〕(担当 者)	・自治体予算に期待をしている。
□	農林水産業(経営者)	・全国で緊急事態宣言は解除されたが、ワクチンや新薬がない 状態では、心理的に不安であり、従来のような外食やイベ ントは期待できない。少なくとも今年一杯は、厳しい状況が 続くかと危惧している。
□	輸送用機械器具製造業 (営業担当)	・新型コロナウイルスの影響による販売台数減少及び生産台 数の減少等を今月同比で予測している。
□	建設業(従業員)	・見積案件や受注状況は、停滞気味に推移している。今期 は、あと数日で終了するが、来期は、受注に向けて今期至ら なかった点等を見直し、持ち直しを考えている。
□	建設業(社員)	・緊急事態宣言は解除されており、今がどん底だと考えてい るが、新型コロナウイルスの影響を引きずり、段々と悪く なっていくのではと不安である。景気が良くなることに期待 している。
□	輸送業(従業員)	・緊急事態宣言が解除されたとしても、すぐには荷動きが戻 ることはなく、最低限の物で生活できると感じる人が増加す ることで、1人当たりの消費は減少する。
□	輸送業(総務担当)	・緊急事態宣言が解除となっても、新型コロナウイルスの脅 威は変わらず、ワクチンが流通するまでは、元の状況に戻ら ない。
□	通信業(職員)	・新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言は解除されたもの の、景気が回復し以前の状況に戻るまでには、かなりの時間 を要すると推測される。また、感染拡大の第2波が来る可能 性も十分にあるため楽観視できない。
□	金融業(調査担当)	・景気後退している状態に、さらに、新型コロナウイルス感 染拡大が、経済活動の停滞を引き起こしている。日本全体で 緊急事態宣言が解除されたことで、停止中の生産や設備投 資、買物・レジャー等の動向が、徐々に活発化されると予想 されるが、2～3か月以内に底打ち、回復は考えにくい。新 型コロナウイルスの終息は、不透明であるため、治療薬の開 発や普及がなされない限り、人々の心理状態は改善されず、 本格的な景気回復には、1～3年要する可能性がある。
□	経営コンサルタント (社員)	・当分は、現在の停滞状況が継続する。
▲	化学工業(総務担当)	・新型コロナウイルスの影響が不透明である。
▲	一般機械器具製造業 (経営者)	・米中貿易問題に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受 け、客の動きが悪い。
▲	一般機械器具製造業 (経営者)	・規制緩和はされたものの、雰囲気为重たく商談も低調気味 となり、先行きが見通せない状況である。
▲	電気機械器具製造業 (総務担当)	・新型コロナウイルスによる影響が懸念される。
▲	精密機械器具製造業 (従業員)	・新型コロナウイルスの影響で、受注先から減産の生産調整 がきている。これからも低迷が続くことを危惧している。
▲	通信業(経理担当)	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たないため、景気 回復はしない。
▲	金融業(従業員)	・緊急事態宣言が全面解除されたとはいえ、引き続き新型コ ロナウイルスの影響が大きく、国内外の観光客が激減し、百 貨店やホテル、飲食店等の売上も大幅に減少するなど、景気 は悪化している。一層の政府の大型景気対策に期待する声も 根強い。
▲	金融業(調査担当)	・新型コロナウイルスの終息が不透明で、大きく落ち込んだ 消費や企業活動のV字回復は見込めない。感染リスクに対す る根深い警戒心は、景気回復の下押し要因となる。
▲	金融業(営業担当)	・中小企業・中小事業者は、全般に緊急事態宣言解除後は、 若干売上の回復がみられるが、今後第2波も予想されるた め、景気は良くならず、むしろ悪くなる。
▲	金融業(営業)	・今の景気が底であると考えられるが、セーフティネットで 資金繰りが一服するだけである。中小零細企業が再生するに は困難が多く、先がみえない停滞感が強まる。
▲	広告代理店(役員)	・新型コロナウイルスの第2波への備え状態が、客内で止ま らず、マーケティング活動全体の鈍化傾向が、しばらく進む。

	▲	その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	・企業の倒産が増加するおそれが高く、ボーナスのカット等も予想され、節約傾向は継続する。
	×	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、どこまで悪化し、そこからどう回復するのか把握できない。
	×	繊維工業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響は、2～3か月では終わらない。
	×	家具製造業（従業員）	・飲食やホテル向け家具の需要は、3か月先も全く不透明である。転勤や新社会人、入学等による家具需要も前年比60%程度で、3か月先以降のホテルや飲食店向け家具見積りは、ほぼ止まり、一般向け家具も大きくマイナスである。売上の主流は、家具小物のような便利グッズだけとなっている。
	×	金属製品製造業（事業統括）	・4～5月の影響により、更に新規案件は厳しい。当社の重要客であるホテルや旅館、老健施設、病院、学校等の経営状況は悪化すると考えられ、危惧している。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先の6～8月生産計画が、下方修正されている。
	×	電気機械器具製造業（取締役）	・売上減少のため、国の補助金を活用しようと考えているが、現金が入らなければ何もならないため、必死になっている状況である。どこまで新型コロナウイルスの影響が及んでいるのかがみえず、不安である。
	×	経営コンサルタント（代表取締役）	・売上は、前年と変わらない状態であるが、客は、新型コロナウイルスの影響で、厳しく追い詰められており、今後、廃業や値下げ交渉等が予想され、当社も厳しい状況になることを覚悟している。
	×	経営コンサルタント（社員）	・緊急事態宣言が解除されても、すぐには回復しない。
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・市町村からの調査や計画策定業務の発注で、企画提案書を提出した際に、新型コロナウイルス対策や、感染を防ぐ会議やヒアリング方法が、業者採用の評価基準の1つになっている。対応できない場合は採用されず、仕事を受注する機会が失われているため、今後も続くと考えられることから、景気が悪くなる。
雇用 関連	◎	求人情報誌製作会社（編集者）	・夏の商戦で、新型コロナウイルスの影響で停滞した売上の取戻しを掛け、サービス業を中心に、積極的な展開がされると予想している。
(九州)	○	人材派遣会社（社員）	・今月より状況は良くなるものの、求人の動きは、人に依存せず生産性向上を求める動きが優先されている。そのため、採用に戻ってくるには時間が掛かる。
	○	人材派遣会社（社員）	・今が最低ラインで、今後上向くことを期待している。プロ野球再開や秋の婚礼シーズンを迎えるため、見込みはあるが新型コロナウイルスが落ち着くことが前提である。
	○	新聞社〔求人広告〕（社員）	・緊急事態宣言が解除され、徐々に人が動き出した感じである。飲食店も営業を再開しているが、地域によっては、新型コロナウイルス第2波で、再び自粛ムードが高くなる可能性があり懸念される。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・外出自粛が解除され、小売や飲食業等には徐々に客が戻り、現状より良くなっていく。また、8月には当地で路線の開通、運転再開もあり、観光も少しは上向くと考える。
	□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染拡大防止による3密を避ける行為や営業自粛が続く限り、各種方面に影響が続く。各企業担当者は、もうしばらく状況を注視するという状態である。
	□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染次第のため、全く先行きが見えない状況である。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの治療手段が、具体的にみえない限り、これまでどおりの経済活動は困難であるため、景気は今月と変わらないか、あるいは悪くなるかと考えている。
	▲	人材派遣会社（社員）	・新規採用は、慎重になる傾向があり、市場感の停滞がある。現在の契約に関しても、終了になる動きもあり、今後もその傾向がうかがえる。
	▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大次第であるが、自粛ムードが続く限り、企業の雇用拡大は望めない。
	▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの産業から求人が減少している。管内の自粛は徐々に緩和されているが、回復に向かうための対処が解決していないため、景気は更に悪くなる。
	×	人材派遣会社（社員）	・全く先行きが分からない。早期退職を募る企業から、再就職支援の相談が増えている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの最終的な終息宣言が出ない限りは、感染の可能性がある飲食業やサービス、イベント、インバウンド需要の回復には、まだまだ時間が掛かる。

×	職業安定所（職員）	・有効求人倍率が4か月連続して低下しており、回復する要素が見当たらない。
×	学校〔大学〕（就職支援業務）	・新型コロナウイルスの影響で、企業の経済活動に長期にわたり影響が及んでおり、採用人数を減じている企業や、採用を凍結する企業が更に発生する可能性が高い。